

「防災意識」の醸成と「防災体制」の強化・連携事業

練馬区 栄町町会

1 事業の概要



作成した防災マップ

【事業の内容】

- 事業に関する打合せを実施（月1回）
- チラシ、回覧板で町会内に事業を周知
- 防災倉庫格納資器材活用訓練の実施
- 「知っておこう『わが町の防災倉庫』」
- 消防署から講師を招いた防災講習会・初期消火訓練の実施
- 「大地震発生！火災発生！さあ！あなたの取る行動は？」
- 過去に作成した防災マップの確認・修正のためのまち歩きの実施
- 「知っておこう『わが町の防災井戸・消火器』」
- ・消火器、防災井戸、災害時危険箇所の場所を確認し、修正する
- ・最新版を印刷し、地域全体に広報
- 無線機の使用方法の講習会を実施
- 防災訓練、簡易無線機による通信訓練の実施
- 近隣町会との連携による避難拠点訓練の実施
- 反省会の実施

【事業の目的】

当町会では、近い将来発生する確率が高い首都直下型地震等の大震災に備えて、地域住民の防災に関する意識と知識の向上を図ること、町会の防災体制の強化及び周辺町会との連携体制の構築を図ることが課題となっている。

そのため、防災マップの更新のためのまち歩きをはじめ、防災の取組を継続的に実施し、災害時における地域住民の生命と財産を守る防災力をつける。

2 事業の効果

防災マップ作りでは、防災倉庫やミニ防災井戸、防災貯水槽などが身近にある事を改めて知ったと好評であった。

消防署及び区防災課の協力により、防災講習会、AED 訓練、近隣町会との連携による避難拠点訓練等を実施したが、住民から大変参考になったと評価された。

無線機の使用訓練では、今まで無線機を使用したことがなかったため、最初は戸惑いもあったが、訓練を行うことで使用方法を習得することができた。

事業を通じて新防災体制を発足させることができた。

新しいマンションの住民に町会への加入の動機付けを行うことができた。



防災倉庫格納資器材活用訓練の様子

3 事業の主な費用

防災マップ印刷経費

簡易無線機購入費

チラシ用紙、印刷用トナー購入費

打合せお茶代



まち歩きを実施し、防災井戸の表示の確認と水の汲み上げを実施



ストレッチャーを使用した搬送訓練を実施